

Oncology News

子宮頸がんスクリーニングプログラム、hrHPV 検査が有用／JAMA Oncol

中国から子宮頸がんスクリーニングプログラムの新たな方法について検討した結果が報告された。中国・北京協和医学院の Junji Zhang 氏らは、全国的な子宮頸がんスクリーニングプログラムにおける新しいスクリーニング法として、高リスク型ヒトパピローマウイルス（hrHPV）検査の有用性を評価する多施設共同無作為化非盲検臨床試験を行い、hrHPV 検査はプライマリケア施設において有効な 1 次スクリーニング法であることを示した。著者は、「中国の全国的なスクリーニングプログラムに hrHPV 検査（都市部では PCR 法、地方ではハイブリッドキャプチャー法）を導入することは妥当である」と結論付けている。JAMA Oncology 誌オンライン版 2020 年 12 月 30 日号掲載の報告。

研究グループは、中国の都市部および地方のプライマリケア施設 20 ヶ所において、地域住民を対象とした無作為化非盲検臨床試験を行った。対象は 35～64 歳の女性で、1 施設 3,000 例以上の参加を呼び掛け、合計 6 万 732 例が評価を受けた。

参加者はベースラインで、細胞診、hrHPV 検査、または酢酸/ルゴールヨード（VIA/VILI）による肉眼検査（地方のみ）に無作為に割り付けられ、hrHPV 検査陽性者は、細胞診トリアージ検査群、VIA/VILI トリアージ検査群（地方のみ）、または直接コルポスコピー群に無作為に割り付けられた。1 次検査またはトリアージ検査で、細胞学的異常を認めた場合または VIA/VILI で陽性と判定された場合は、直接コルポスコピーに紹介した。

24 ヶ月後、細胞診、hrHPV 検査および VIA/VILI の同時スクリーニングを実施し、陽性結果を示したすべての女性がコルポスコピーに紹介された。

主要評価項目は、子宮頸部上皮内病変（CIN）のグレード 2 以上（CIN2+）および CIN3+ の検出率。副次評価項目はコルポスコピー紹介率であった。

主な結果は以下のとおり。

- ・6 万 732 例の年齢中央値は 47 歳で、無作為化の内訳は、都市部では細胞診が 8,955 例、hrHPV ジェノタイプ判定検査が 1 万 8,176 例、地方では VIA/VILI が 1 万 1,136 例、細胞診が 7,080 例、hrHPV 検査が 1 万 5,385 例であった。

- ・hrHPV 検査陽性で直接コルポスコピーを紹介された患者は、ベースラインでの疾患検出率のリスク比（RR）が高かった。

- ・検出率の RR は、都市部の hrHPV vs. 細胞診で CIN2+ が 2.2（95%信頼区間[CI]：1.6～3.2）、CIN3+ が 2.0（1.2～3.3）であり、地方の hrHPV vs. 細胞診では、それぞれ 2.6（1.9～4.0）、2.7（2.0～3.6）、また、地方の hrHPV vs. VIA/VILI では、それぞれ 2.0（1.6～2.3）、2.3（1.8～3.1）だった。

- ・24 ヶ月時点の地方において、ベースライン hrHPV 検査陰性例は、ベースライン細胞診陰性例に比べて CIN2+ 検出率の RR が 0.3（95%CI：0.2～0.5）、またベースライン VIA/VILI 陰性例に対しては 0.3（0.2～0.6）と、いずれも有意に低かった。

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。

Oncology News



- ・同様に、CIN3+検出率の RR も、それぞれ 0.3 (95%CI : 0.1~0.6)、0.4 (0.2~0.8) と有意に低かった。
- ・地方における hrHPV 陽性例のコルポスコピー紹介率は、細胞診トリアージによって 2.8%に低下し、CIN2+検出率は細胞診 (RR : 2.1、95%CI : 1.3~2.6) または VIA/VILI (RR : 1.6、95%CI : 1.03~2.1) に比べて有意に高かった。
- ・細胞診トリアージによる hrHPV ジェノタイプ判定検査は、都市部において細胞診と比較し、コルポスコピー紹介率を有意に低下させた (RR : 0.8、95%CI : 0.7~0.9)。

< 関連文献 >

Zhang J, et al. JAMA Oncol. 2020 Dec 30. [Epub ahead of print]

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33377903/>

当コンテンツは、株式会社ケアネットの監修により、がんに関連する重要論文を選別し、それらを簡潔に要約したニュースレターです。当社の見解を述べるものではなく、承認外使用を推奨するものではありません。内容の詳細については元文献・元ニュースを、製品に関する情報は各製品の最新の添付文書をご確認いただきますようお願いいたします。

尚、当コンテンツに掲載されている記事等に係る所有権、著作権その他一切の権利は、ニプロ株式会社、株式会社ケアネット、コンテンツ制作者等の著作権者が保有しています。